

古稀をお祝いして

保田芳昭教授に捧げる

執筆者一同



献 辞

保田芳昭先生は、2005年1月10日にめでたく古希をお迎えになられます。

三重県桑名市にお生まれになった先生は、関西大学商学部、同大学院経済学研究科で学ばれました。一時、京都大学研修員として研究に従事された後、1963年に本学商学部助手として着任され、同専任講師、同助教授を経て、1977年に教授に昇進され、現在に至っておられます。

この間、研究・教育に心血を注がれるとともに、大学行政や私学国庫助成運動、学会運営などにもはかりしれない尽力と貢献をされてきました。商学部長、大学院商学研究科長、学校法人関西大学評議員、関西大学協議会協議員などの要職を歴任される一方、1971年以来、実に30余年もの長き間にわたって国庫助成委員を務められ、国庫助成に関する全国私立大学教授会連合の事務局長、常任幹事校代表、高等教育政策検討委員会委員長、国庫助成運動のあり方を検討する特別委員会委員長などの重職を担われ、「西に保田芳昭あり」と全国に令名を轟かせてこられたことは、私たちの誇りとするところです。

商学部では「マーケティング論」「マーケティング政策論」を担当され、数多の俊秀を世に送り出してこられました。「批判精神」をモットーとされる先生は、研究面でも、『マーケティング論研究序説』『国際化時代の流通政策』などの重厚な研究を世に問われ、斯学の第一人者としてその学問研究の発展に多大の貢献をされてきました。編著を含む著作12点、学術論文60有余編、その他数多くの論説は、先生の弛みない学問生活の珠玉のご成果です。

また、学会活動においても日本流通学会会長、日本商業学会研究理事、日本消費経済学会理事、日本流通学会事務局長など重責を果たされ、学会と学問の発展に多大の貢献をされてこられました。現在は、温泉学会の初代会長に就任され、「温泉大国」の再生のために生来の「批判精神」を生かしてご活躍中です。

学内外で多方面にわたって活躍され、わが商学部を代表する存在であった先生が来年3月をもって関西大学を定年退職されることは、まことに寂寥のきわみです。商学部、商学会の発展のために、今後とも私たち後進を見守っていただき、ご指導いただきますよう心から念願するしだいです。私たちは、ここに先生のご足跡を回顧しつつ、深甚の謝意をもって『関西大学商学論集』の特集号を捧げるものです。

2004年10月10日

商学部長 鶴 田 廣 巳